

平成26年10月

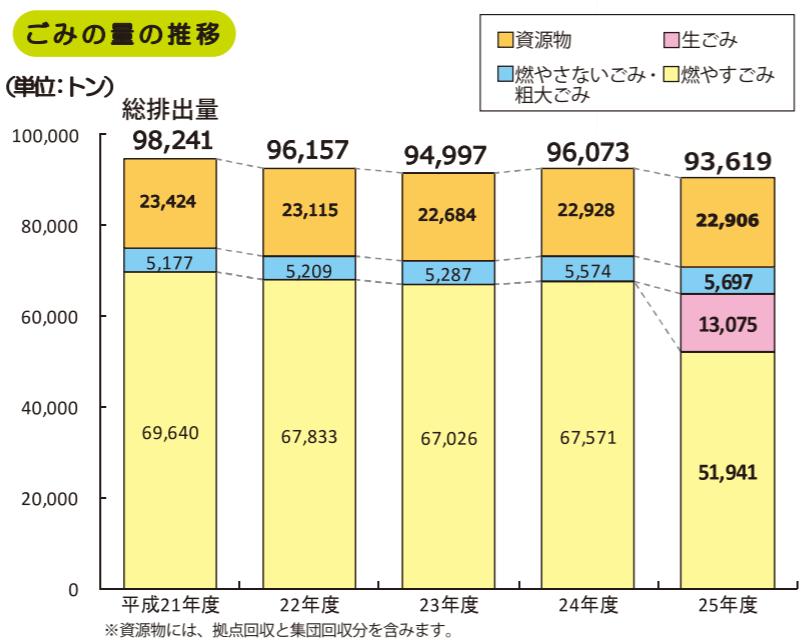
平成25年度のごみと資源物 ～分別のご協力に感謝します～

平成25年度のごみと資源物の総排出量は93,619トン。前年度に比べ、約2,500トン減少しました。

平成25年4月からの生ごみの分別スタートを契機に皆様のごみの減量に対する意識が一層高まった結果と思われます。

一方で、「燃やさないごみ・粗大ごみ」が年々増えてきています。

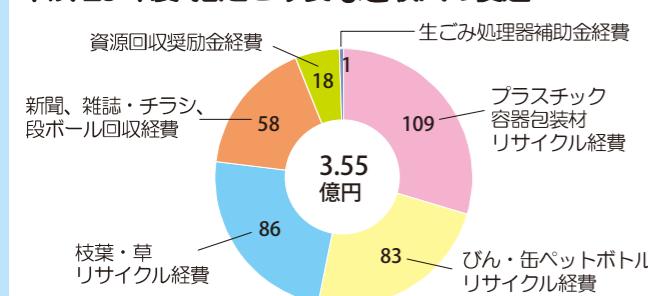
不要なものは買わない、繰り返し使うなどを実践し、より一層のごみの減量と資源のリサイクルにご協力をお願いします。



平成25年度 ごみと資源物の処理経費 30億9,139万円でした。

これは市民ひとり当たり年間約11,060円です。
なお、ごみ指定袋などの売り上げ収入は、約3億5,500万円、この収入はすべてごみの減量とリサイクル経費に充てています。

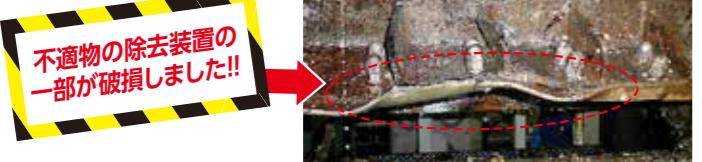
平成25年度 指定ごみ袋など収入の使途 (単位:百万円)



生ごみ処理機械が破損!

生ごみの処理施設で処理できない、衣類や石などが生ごみと一緒に出されたため、機械が破損する事故が相次いでいます。

生ごみの日には、「生ごみ・紙おむつ」以外は出さないでください!



ごみは収集日の午前8時30分までに出しましょう!

例えば、「びん・缶・ペットボトル」と「新聞、雑誌・チラシ、段ボール」の収集日には、それぞれ別の業者が収集します。収集時刻が異なりますので、ご注意ください。

3R (リデュース Reduce
リユース Reuse
リサイクル Recycle) を生活の中に

ながおかの ごみ改革

ご家族みなさん
お読みください

毎年10月は「3R推進月間」です!
マイバックの持参や詰め替え商品を選ぶなど、環境にやさしい買い物を心がけましょう。

長岡の環境キャラクター
ベギちゃん



“小型家電”は「資源物の拠点回収」へ

毎週土・日曜日(午前9時~正午)に実施! ※祝日・年末年始は除きます

ご家庭に、不用になった小型家電はありませんか?

市では、電気や電池で使用する家庭の小型家電を無料で回収しています。

ぜひ、お近くの拠点回収にお持ちください。(下記参照)

回収された小型家電は、分解・選別され、貴金属・希少金属を中心国内で再資源として有効利用されます。

拠点回収を利用できない場合は、“燃やさないごみ”として、町内のごみステーションへ出してください。(パソコンは除く)



持ち込む際のポイント

- ▶大きさは50cm角程度以内のもの
- ▶壊れていてもOK
- ▶付属のリモコン、コード類、充電器、ACアダプタもOK
- ▶電池を外す(乾電池は有害危険物、充電池は店頭回収へ)
- ▶灯油などの燃料を抜く
- ▶データなど個人情報を削除する
- ▶持ち込むときは、そのまま、あるいは透明・半透明の袋に入れる



- 長岡市環境衛生センター ●希望が丘資源物ステーション ●中之島資源物保管庫 ●板尾金町車庫(冬期の回収場所は調整中) ●越路支所(こじい秋まつりの前日と当日は休み) ●三島支所 ●和島支所(毎月第4曜日のみ、祝日でも開催) ●寺泊支所(毎週日曜日のみ、祝日でも開催)

▼このぼりが目印



テレビ、エアコン、
冷蔵庫、洗濯機、除湿器、
衣類乾燥機、電気カーペットは除くよ。

まだまだできる！燃やすごみの減量

“燃やすごみ”として出されたごみの中には、分別すれば資源となる紙や衣類、プラスチック容器包装材などが、まだ多く含まれています。

「混ぜればごみ、分ければ資源」です。ごみの分別に、一層のご理解とご協力ををお願いいたします。



実際に“燃やすごみ”として出された「資源となるごみ」

チラシ、雑誌、紙箱などは、月2回の古紙の収集日に



- 小さな紙箱や紙片は、平らにして、雑誌やチラシに挟んでください。
- 本は、表紙がビニール・布貼りでもそのまま十字に縛って出せます。
- 毎週土・日に開催している拠点回収に持ち込んでもOK。
- 牛乳パックなど耐水加工がされた紙製容器は、拠点回収か店頭回収へ持ち込んでください。

古着・古布は、月2回の収集日に



- 汚れや破れのない靴下、下着、着物を含む衣類全般とタオル、タオルケット、シーツ、毛布は、洗濯をしてたたんで、透明または半透明の袋に入れてごみステーションへ。
- プラスチック製でも「商品そのものの」の場合は、“燃やすないごみ”へ。(洗面器、バケツ、カップ、ハンガー、歯ブラシ、結束バンド、プラスチック製保存容器など)
- リサイクルの流れを次ページでご紹介します。▶

プラスチック容器包装材は、洗って週1回の収集日に



- フタマークのあるプラスチック製の容器や包装材は、汚れを水で洗って、透明または半透明の袋に入れてごみステーションへ。
- プラスチック製でも「商品そのものの」の場合は、“燃やすないごみ”へ。(洗面器、バケツ、カップ、ハンガー、歯ブラシ、結束バンド、プラスチック製保存容器など)
- リサイクルの流れを次ページでご紹介します。▶

追跡取材レポート 私たち見学してきました！

新潟大学教育学部附属長岡中学校
社会創造科の取組



ごみステーションで収集したプラスチック容器包装材はその後、市内西陵町にある「環境資源開発株式会社」で選別、圧縮、梱包されてリサイクル工場へ引き渡されます。



“プラスチック容器包装材”的ゆくえが見学できます。
個人でも団体でもOKです。お申し込みは、
環境資源開発株式会社 電話：21-5525へどうぞ

ごみのゆくえ

私たちが出した

ごみのゆくえ

1

ごみ収集車が環境資源開発株式会社に到着し、プラスチック容器包装材が空けられます。



2

ベルトコンベヤーに乗せ、選別作業をする場所に送ります。



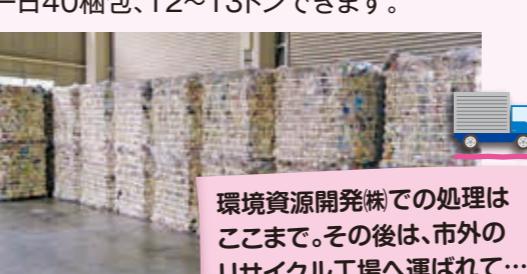
3

手作業で金属類や食べ残しなど、プラスチック容器包装材でないものを取り除きます。



4

1m四方の立方体に圧縮して梱包されます。一日40梱包、12~13トンできます。



環境資源開発株式会社での処理はここまで。その後は、市外のリサイクル工場へ運ばれて…

5

市外のリサイクル工場へ引き渡され、再びプラスチック製品（ベンチ、園芸用プランター、車止め、擬木、杭など）の原料や、工業用の燃料油などにリサイクルされます。



～見学をした私たちの感想～

見学の際、「絶対にプラスチック容器包装材ではない」と分かる危険物などが、想像以上にたくさんあると感じました。「どうせ誰が捨てたか分からないんだから…」という考えをせず、責任をもって出してほしいと強く思いました。市民一人ひとりの分別に対する意識を高め、実行していくけば、長岡をもっと循環型社会に近づけられるのではないかと思いました。



ダメ! 危険なので入れない！
実際に次の物が入っていました。
異物は、作業員が手作業で取り除いていますので、これらを含んでいると大変危険です！



問い合わせの多い“枝葉・草”的出し方

● “枝葉・草”で出せるもの（1月・2月は収集しません）

▶ 庭木をせん定した枝葉

▶ 庭の草花・落ち葉

▶ 切り花（花瓶・仏壇など）に使った花

▶ 冬囲いの荒縄

※収集した枝葉・草は、培養土や有機肥料にリサイクルされます。

枝葉・草は、自宅でできるだけ堆肥化容器を利用して自然に戻しましょう。



枝葉は、サイズに気をつけて



草・落ち葉は、土をしっかり落として



加工した木材（丸太、角材、板、杭、冬囲いの竹など）

太さ5cm以内、長さ50cm以内に切って、ひもで縛らず指定袋に入れてください。

